

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2015-03-01

No. 62



株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation
〒516-2102 三重県度会郡度会町大野木 3571 番地 2

本社・大野木事業所

<http://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary.....	2
IEC: 規格解説: CISPR 16-1-5 Ed. 2.0 (2014-12): CALTS 及び REFTS 検証手順.....	4
IEC: 新規格リスト.....	12
ISO: 新規格リスト.....	17
国際テーマ: UNECE: 規制 No. 10 (電磁両立性)修正の Rev. 05 への補足 1 提案.....	18
国際テーマ: Nemko news in Brief からの抜粋.....	19
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲.....	20

USA: FCC: KDB: 802.11 a/b/g 機器を特別に扱う追加の SAR 測定手順は存在するか?.....	22
USA: FCC: Part 0,1,2,15,68: TCB に関する無線周波 (RF) 機器の認可規則を修正.....	22
USA: FCC: Part 15: UPCS 帯免許不要個人通信デバイス測定: ANSI C63.17-2013 を使用.....	23
USA: CPSC: Part 1120: 危険性の高い有害製品リスト: 延長ケーブル.....	24
USA: CPSC: 住宅用エレベータに関する規則制定の請願.....	24
USA: FDA: 認証規格リスト、認証リスト番号: 038、039 により修正.....	25
USA: DOE: 汎用蛍光灯 (GSFL) に対してより厳しい省エネ規格を採用.....	25
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知.....	26
USA: ANSI/UL: 新規格リスト.....	27
USA: IEEE: 新規格リスト.....	29
カナダ: 官報通知: SLPB-005-14、SLPB-007-14、SLPB-008-14、SMSE-007-15 AWS-4 等.....	30

EU: CENELEC: 整合規格リスト発行: EMC 指令 一般製品安全指令 医療機器指令 等.....	31
EU: CENELEC: EMC 指令 整合規格リスト EU 官報により発表 (2015/1/16).....	33
EU: 低電圧指令 LVD: ヒューズ抵抗器適用に関する情報シート May 2014.....	34
EU: CENELEC: 新規格リスト.....	35
EU: ETSI: 新規格リスト.....	40
オーストラリア: 無線通信デバイスアレイメント説明文書、入手可能.....	41
ニュージーランド: 無線通信規制 2001 への修正、2015/2/1 発効.....	41

中国: CQC: 自動車及び安全付属品強制認証の新版実施規則及び実施細則の施行.....	42
中国: CQC: 自動車強制製品認証実施細則の公布に関する通知.....	42
中国: CQC: オートバイ及びオートバイエンジンの強制製品認証実施細則の公布.....	43
中国: CQC: 携帯式移動電源製品の安全認証業務の開始に関する通知.....	43
中国: CQC: 携帯用電子設備用二次電池関連、携帯電子製品用リチウムイオン電池関連公告.....	43
中国: CQC: 太陽光発電システム関連、風力発電ユニット関連の認証業務を開始.....	44
中国: CQC: 温度ヒューズ製品の新版強制認証規格 GB 9816.1-2013 を実施.....	44
中国: CQC: 家庭用及び類似用途固定式電気装置のスイッチ製品 新版強制認証規格.....	45
中国: 新規格リスト.....	45
台湾: 新規格リスト.....	47
韓国: 電磁波障害防止試験方法と電磁波保護試験方法の改正通知.....	48
韓国: 電気通信事業用無線設備の技術基準の一部改正 (案) 行政予告.....	48
韓国: 放送通信機資材などの適合性評価に関する告示の一部改正案 行政予告.....	49
韓国: 「海上業務用無線設備の技術基準」の一部改正 (案) 行政予告.....	49

総務省: IEC: CISPR フランクフルト会議の結果: 情報通信技術分科会 (第 106 回) 1/2.....	50
総務省: フィリピン共和国で地デジ日本方式の本放送が開始された.....	53
経済産業省: 「電気用品の範囲等の解釈について」の一部改正.....	54
経済産業省: 電気用品安全法の省令の解釈一部改正が行われた.....	54

会長から読者様へ.....	3
コスモス・コーポレーションからのご案内: 動電式振動試験装置導入のお知らせ.....	21
ちょっといっぱく: 小クイズコーナー米国 FDA のレーザ照射プロジェクトのガイダンス.....	31
社長の独り言.....	55

IEC: 規格解説: CISPR 16-1-5 Ed. 2.0 (2014-12): CALTS 及び REFTS 検証手順

CISPR 16-1-5 Edition 2.0 が、2014-12 付けで発行された。校正試験サイト(CALTS) 及び 基準試験サイト(REFTS) に対する仕様及び検証手順に関する規格である。

- 本第 2 版は、2003 年発行の第 1 版及び修正 1 (2012)をキャンセルし置き換える。これは技術的改定からなる。
- 本版は、前版に比し、以下等の重要な技術的変更を含む:
 - アンテナ校正試験サイト受諾基準: 従来版 Ed.1 ではサイトアッテネーション SA を利用した判定式により判断したが今回新たにサイト挿入ロス SIL という考え方を導入しそれを利用した判定式に変更された
 - CISPR 16-1-6 でカバーされている他のサイトに対するサイト検証方法が追加された;
 - 反射面の構造: ミニマム寸法 従来の 20 m x 15 m を 30 m x 20 m に拡大 等

国際テーマ: UNECE: 規制 No. 10 (電磁両立性)修正の Rev. 05 への補足 1 提案

- 本規制を適用する 1958 協定の当事者は、製造会社のラボを、承認済み試験ラボと指定してもよい。

USA: FCC: Part 0,1,2,15,68: TCB に関する無線周波 (RF) 機器の認可規則を修正

- 連邦通信委員会 (FCC) は、無線周波 (RF) 機器の認可規則を修正した。官報公表 30 日後発効。
- 本報告および指令では具体的に以下を実施する:
 - FCC による RF 機器の認証に関する申請書の受理を停止し、認証に関する全ての申請を TCB が処理・認可することを可能にする;
 - TCB が認可した製品に対し TCB 自らが市販後調査を行う義務を成文化する 等

EU: CENELEC: 整合規格リスト発行: EMC 指令 一般製品安全指令 医療機器指令 等

EU: CENELEC: EMC 指令 整合規格リスト EU 官報により発表

- 整合規格リストが以下の指令に関し発行: EMC 指令、娯楽用船舶指令、一般製品安全指令、能動埋め込み型医療機器指令、医療機器指令、体外診断用医療機器指令、ATEX 指令

EU: 低電圧指令 LVD: ヒューズ抵抗器適用に関する情報シート 2014/5

- LED ランプ、CFL ランプ及び SMPS、等でのヒューズ抵抗器使用のルールを定める

総務省: IEC: CISPR フランクフルト会議の結果: 情報通信技術分科会 (第 106 回) 1/2

情報通信審議会 情報通信技術分科会 (第 106 回) 配付資料・議事概要・議事録

「議題 (6) 報告事項: CISPR フランクフルト会議の結果について」から報告する。

- 2014 年の CISPR 会議は、10 月 13 日から 10 月 23 日までの 11 日間にわたり、ドイツのフランクフルトで開催された。我が国からは、総務省、独立行政法人情報通信研究機構、各大学、各試験研究機関及び各工業会等から 38 名が参加した。
- 総会及び各小委員会等において審議等が行われた、その主な結果がここに報告されている。

社長の独り言

2015 年 2 月 18 日
濱口 張馬

昨年から暖冬予測が某天気予報では予想されておりましたが、寒い冬のまま終わりそうです。時折見られる暖かい日差しに、春の近づきを感じます。おかげさまで、真冬に蒔いた芝生の種が発芽しました。内心は蒔くのが早すぎると思いつつも、せっかちな性格を抑え切れません。夏を迎えるまでには、綺麗に仕上げたいとの思いだけは強く持っておりますが、どうなる事やら。

さて先日モンゴル政府とその関係の方々とお会いする機会がありました。ある日、モンゴル在中の友人から、モンゴル政府と関係者が日本に数日行くことになり、時間を調整して会ってみませんか？というお誘いが始まりでした。実はこのモンゴルの友人は、学生時代を日本で過ごし、大学を卒業後コスモスに入社し、現在モンゴルにて医療機器に係る仕事に従事しております。そんな彼からモンゴルで使用されている医療機器に関しての相談を度々受けておりました。問題の背景には、モンゴルの情勢から日本の中古医療機器を含め、インドやロシア・中国といった外国製品が性能や安全性を問わず、モンゴルの病院で使われている現実を変えたいとの悩みから生まれるものでした。モンゴルにも日本の厚生労働省に該当する政府機関が存在し、医療機器に関しても所管する部門があるとの事ですが、日本でいう「医薬品医療機器等法」(旧 薬事法)のようにモンゴル国内で販売・使用される医療機器に関しての明確な制度が確立されていない状況であり、モンゴルに制度を立ち上げよう！とよく勝手に盛り上がっておりました。

その友人が政府に話をしたことから、面会という形にいたったのですが、当日指定されたホテルに出向きますと、一目で彼らだと確信させられました。伝統的衣装の方も見えましたが、何より体格が立派すぎます。さすが日本で横綱を生み出すだけのことはあります。確信を持ちつつも、念のため連絡用に教えて頂いた携帯番号に電話します。ムム、明らかに鳴っているが、気づいてもらえない。かけている私にも着信音が聞こえているのですが。勇気を出して、電話鳴っていますよと・・・電話をかけながら話しかけたのが、面会の始まりとなりました。面会では彼らの来日目的や、モンゴル医療全般に関してのビジョンを聞かせていただきながら、日本や他国の医療制度等をこちらから説明させていただきました。

もう少し時間はかかりそうですが、数年後にはモンゴルにも認証制度が正式に開始される雰囲気を感じ取る事ができ、コスモスも協力できることがあれば、支援させて頂くことを約束し、面会は無事終了する事ができました。規制制度を導入したいが、実情にそって段階を踏みたい。しかし骨抜きになっただけでは意味がない。会社という単位の中でも、同じような場面はございますが、国単位でこういった課題に挑戦される方々の苦労というのは、計り知れないものを感じました。将来導入されるであろうモンゴル医療機器制度に関し、コスモスが培った経験が少しでもお役立ちできればと考えております。

そのためにも、まずはモンゴルという国を知る必要がありますね！旅行の準備をしなくては。

● ニュースレターの内容

本誌は、EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation) 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレーション 業務推進部まで sales@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<http://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレーションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC& Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2015-03-01 (No. 62)

発行所: 株式会社コスモス・コーポレーション 松阪事業所 <http://www.safetyweb.co.jp/>

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地

発行人: 濱口張馬

編集人: 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2015 株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。